

山口新聞

平成 24 年 11 月 23 日 (金)

NO. 32

農地・水・環境

守ろう地域の手に



32

向峠の歴史は1457年、田利左衛門は、この地に水に平清盛の子孫、平盛信宇路を引く計画を立て、住良兵衛道喜が水のない台地に一族郎党72戸で入植し、平家の宝刀を納めて剣霊神社を祭ったことが始まりである。

当時、畑地50畝は紙の原料のコウゾの産地だったが、幕末になると米に変わった。畑を水田にするため向峠の毛利藩地方役人の山

こうした歴史を経て、当地域は1980年度から農村基盤総合整備事業、農業集落排水(下水道)事業などに取り組んだ。生産基盤や生活環境などを整備し、関係農家で農地、水路などの保全管理や耕作放棄地の発生防止を実施してきた。しかし、高齢化が進む中、農家による保全管理だけでは農地などの維持が困難と

そこで農業者と非農家が一体となり、農村の資源を守り向上させる「向峠環境保全隊」を2007年に設立。集落内のふれあいを深め、安政3年の水路完成を祝った神楽などの行事に地域のみんなが積極的に参加、協力できる温かい地域づくりを目指している。

また、100万年前に島根県高津川の流域を錦川支流の宇佐川が浸食により河川争奪した地形を、ジオパークにすることも地域の目標としている。

向峠環境保全隊(岩国市)

桃源郷をめざして

西中国山地国定公園として美しい山々が眺められる当地を、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

(代表、恵本洋嗣)

— 金曜日掲載 —

【メモ】代表 恵本洋嗣

▽会員 56人、農家 30戸、向峠西自治会、向峠東自治会、岩国市向峠土地改良区

▽設立 2007年4月7日

▽連絡先 岩国市錦町字佐郷529番地、恵本洋嗣

0827・74・0218



上 会員の皆さん
下 小川での生き物調査